

西建協だより

335号

2022年6月



西建協 HP
QR コード

「西建協だより」では、西多摩の建設業界と深いつながりのある管内の様々な行政機関の方々から機会あるごとに寄稿をいただいております。このたび、西多摩建設事務所、工事第一課長 高瀬照久様より西多摩建設事務所管内の道路事業について、貴重なご意見を頂きましたので掲載を致します。

西多摩建設事務所の道路事業について 西多摩建設事務所 工事第一課長 高瀬照久

西多摩建設事務所では、道路、橋梁の建設・維持管理及び河川の改修・維持管理に加え、砂防事業、地すべり防止事業、急傾斜地崩壊防止事業などを行っています。

その中で、最も基礎的なインフラである道路の建設事業について紹介します。

市街化が進む東部地域では、円滑な道路ネットワークの形成と安全性の向上等を目的として、青梅3・4・4（天ヶ瀬・裏宿地区）、青梅3・4・1（吉野街道）や福生3・3・30（産業道路）などの都市計画道路の整備や歩道設置等の安全施設事業を進めています。今年度は、青梅3・4・4の早期完成に向けて、鋼管杭回転圧入工法を用いた擁壁工事や電線共同溝工事などを行っています。福生3・3・30では、暫定開放に向けての街路築造工事も行っていきます。

また、踏切による交通渋滞の解消を図るため、鉄道との立体交差事業も進めています。今年度は、青梅線の志茂立体交差事業の擁壁工事と八高線の箱根ヶ崎立体交差事業の橋梁下部工事を行っています。急峻で厳しい地勢条件を有する西部地域では、自然災害による孤立化対策、交通混雑の緩和等を目的としたバイパス道路の整備を最重点として、多摩川南岸道路、秋川南岸道路、梅ヶ谷トンネル等の事業を進めています。今年度は、多摩川南岸道路（丹三郎工区）の事業化に

向けて、昨年度に引き続き用地測量を実施するとともに、トンネル詳細設計などを進めています。秋川南岸道路では、第一工区の荷田子地区及び下元郷地区で用地取得を進めるとともに、工事着手に向けての詳細設計などを進めています。梅ヶ谷トンネルは、令和3年7月にトンネルの掘削が完了し、トンネル内舗装工事に着手しています。

以上のように、当所では、地域に即した道路事業を展開しています。今後も、地域の担い手である協会各社の皆様とともに、西多摩地域の持続的発展に貢献するような道路づくりを行ってまいります。

西多摩建設業協会、令和四年度優良工事表彰式にて表彰されました。協会員の皆様より受賞されました現場施工体験記の寄稿を掲載いたします。

優良工事表彰受賞施工体験記

「軽量盛土工法と湧水排水処理」

東京機工土木(株)

工事件名… 街路築造工事及び電線共同溝設置
その3（29西—青梅3・4・4）
工事場所… 東京都青梅市天ヶ瀬町地内
施工業者… 東京機工土木株式会社
現場代理人 神山 修

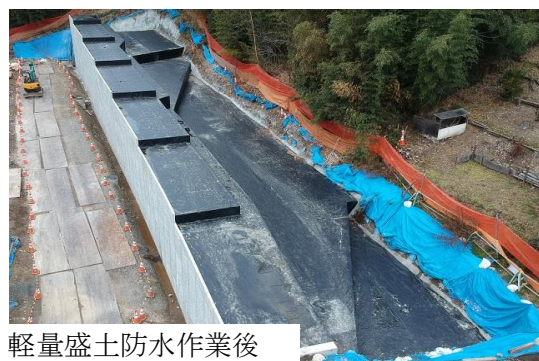
この度は、令和3年度東京都建設局優良工事表彰という名誉ある受賞を賜りましたこと、とても栄誉のあることと感謝しております。本工事の施工箇所は新青梅街道の千ヶ瀬バイパスを延伸する工事区間の一部分でした。上下車線で6.5mの高低差があるため、道路センターにプレキャストパネル擁壁を積み上げ、背面を軽量盛土工法（FCB工法）と発生土で埋戻し、車道と歩道を新設しました。また設置した歩道内に電線共同溝のボックス設置と配管を

施工しその後保安施設を新設する施工内容でした。

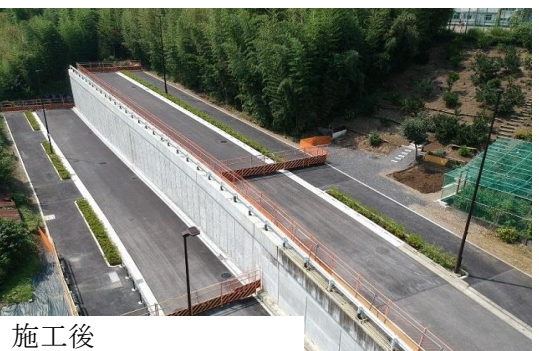
施工時に一番問題となり、特に苦勞した点はパネル擁壁背面の地山から流出していた湧水の処理でした。水は軽量盛土の天敵です。施工範囲全般で湧水が確認され確実な排水処理が必要となりました。対策としてパネル背面の掘削法尻最下部縦断方向と特に湧水が多い箇所では横断方向にφ150mmの有孔管を増設し、単粒度砕石で巻き立てたい排水経路を確保しました。有孔管につながる人孔も増設し流末の管路を既設雨水管へ連絡しました。これにより背面の湧水が排水経路に流れ、その後の軽量盛土の施工を無事に完了することができました。

また、背面の軽量盛土が段切り形状で複雑であったため、図面を見ているだけではうまくイメージがわかなかつたため、施工前に厚紙で縮尺模型を作成し、日々の打合せや設計変更の協議をする際に積極的に活用しながら話をすることが可能となり、施工手順や途中の仕上がり形状を現場全員で具体的に共有することができ、その後の施工管理、工程管理、安全管理までも確実に進めることができました。

最後になりますが、施工途中で問題が発生した際に、多くの助言や再検討機会を与えていただき、粘り強くお付き合いいただいた西多摩建設事務所の職員の皆様、度々の振動騒音にも関わらず苦情等を我慢し積極的に施工に協力していただいた沿道住民の皆様の協力なくしてこの工事は完了することはできませんでした。改めて心より感謝申し上げます。



軽量盛土防水作業後



施工後

優良工事表彰受賞施工体験記

「迅速な災害被害への復旧対応」

榎上坂重機開発

工事件名… 3 秋川災害復旧工事（山田）（緊急施行）
工事場所… 東京都あきる野市山田地内 秋川
施工業者… 株式会社上坂重機開発
現場代理人 吉澤 守

この度、令和3年度 東京都建設局災害復旧等功労者表彰という名誉な賞を頂き東京都建設局並びに関係各位のご指導・鞭撻、協力業者、地域住民の方々のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

令和元年十月に発生した台風十九号では日本各地広範囲で河川の氾濫や土砂崩れ等が多発し西多摩地域においても河川の氾濫、土砂崩、それらによる道路の寸断が発生する中、西多摩建設事務所より災害対応の依頼を受け山田大橋下流秋川左岸の災害箇所の対応にあたりました。被害状況の確認の為現地へ足を運んでみると約180日に渡り堤防が決壊して住宅は浸水した模様で改めて自然の驚異、水害の怖さを目の当たりにしました。被害現場の初期対応として堤防決壊箇所に大型

し上げます。土木業は、夏は暑く冬は寒い中で施工する厳しい環境の職業ではありますが、工事完了後の充実感には非常に感動するものがあります。是非若い方々に土木の仕事に興味を持っていただき、この業界に入る方が増えてもらえればと願っております。今後とも地域のお役に立てるように日々勉強し無事故での施工完了を目標に精進してまいります。



災害復旧作業中（ドローン撮影）



施工完了後（ドローン撮影）

土のうで仮設堤防を構築し二次災害への対策としました。初期対応施工と同時に本復旧設計が進み年内に本復旧工事に着手となりました。工事概要は決壊した堤防部分180mを川内側護岸は練石張工法1500㎡で川外側をブロック張り工法510㎡で堤防を築造、天端部を舗装道路として出水期までに完成する事でした。工事の流れは仮設堤防の大型土のう約1600袋を撤去した場所を下流域から3850㎡の土砂運搬と段階的な嵩上げ盛土で築堤した堤体に出水に備え先行して川内側護岸を天端部まで施工した後、川外側の施工として最後に天端部道路舗装及び付帯工で完成としました。

各地で同様な被害が多数発生しており、石工の人員確保と施工規模に必要な練石張自然石の調達が当初の課題でしたが、本復旧着手間もなく年明け1月の降雨による増水で仮設通路が流出する被害もあり仮設堤防撤去から護岸完成までの施工期間中に増水による新たな被害と住民の方々の心配や不安が危惧されましたが都度工事の進捗状況に合わせた対策を取り、その後は被害なく無事出水期前に竣工する事ができました。

今後も地域住民の安心安全のため、弊社一同技術力向上を目指し努力して参りたいと思います。

西多摩建設業協会・若手経営者の会
代表幹事就任のご挨拶
岩浪建設株式会社 岩浪 由和

この度、令和四年五月三十一日に開催された「西建協・若手経営者の会 第28回定期総会」におきまして、ご推挙頂き代表幹事を仰せつかりました岩浪建設株式会社の岩浪由和でございます。

歴代、代表幹事を務め上げられた各先輩方の中、私のような者が代表幹事という大役を拝命するに当たり大変身の引き締まる思いですが、西建協・若手経営者の会の更なる発展に向け精一杯努力してまいる所存ですので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

現在、建設業界では建設業者の高齢化と、それに伴う若い担い手不足が深刻な問題になっております。建設就業者数は1990年代後半にピークを迎え、それ以降は減少傾向となっており、現在でも建設就業者数の減少や高齢化は進んでおります。それは西多摩地域も例外ではありません。さらに、コロナ禍において工期の長期化やずれ込みに加え、資材高騰や不足などの状況が複合的に絡み合い、益々苦境に立たされているのが現状です。この苦しい状況のIT化の推進による生産性の向上、更なる業務の効率化が急務になっていると思っております。

建設業を取り巻く環境は刻々と変化しており、西建協・若手経営者の会においても社会情勢や業界環境により求められる姿が変化していると感じます。

西建協・若手経営者の会の会員皆様は、同じ地域で建設業を営む同志であり、良きライバルだと感じております。この先の環境変化に柔軟に対応できるよう、若手経営者の会の活動を通じて、そのような問題への取り組み方法の情報交換や、会員皆様のための新たな講習会の実施や、今までの研修視察、そして新規事業も積極的に検討し、コロナ禍に負けずに若いパワーを活かして活発に活動をしていきたいと思っております。

2年間の任期中、至らない点多々あるうかとは思いますが、会員皆様からのご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

令和4年度 全国安全週間説明会開催

建災防東京支部西多摩分会では、青梅労働基準監督署様のご協力を頂き6月14日、羽村市生涯学習センターゆとろぎにて、全国安全週間説明会を開催しました。コロナ禍により3年ぶりの対面開催でしたが、多くの会員にご参加を頂きました。



◇あ と が き◇

梅雨を迎え、我々建設業界にとって、最も気の揉む『熱中症対策』の季節となりました。夏場のマスク着用屋外作業は、本当に過酷です。「政府によるマスク着用の考え方」を参考に必要のない場面では、マスクを外すなど熱中症予防に配慮した上で、臨機応変な対応を心がけましょう。さて、東京都において5月末には新型コロナウイルス対策の「リバウンド警戒期間」終了による、およそ3年ぶりの飲食店利用人数・滞在時間などの制限緩和。さらには都内観光の促進を目的とした「もっとTokyo」を6月から実施。今後の課題ではありますが新型コロナウイルス感染症と共生し、東京・西多摩の産業が少しでも活気づけばと心より願っています。

～広報委員会～

令和4年度 全国安全週間

本週間 令和4年7月1日～7月7日
準備期間 令和4年6月1日～6月30日
スローガン

「安全は 急がず焦らず怠らず」

全国安全週間は、「労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着すること」を目的に今年で95回目を迎えます。

労働災害を減少させるためには、事業者・労働者双方が労働災害防止のための基本ルールを徹底し、またそれらを遵守・実行するための時間的・人員的に余裕を持った業務体制を構築することが重要であります。

上記のスローガンの下、更なる労働災害の減少を図ることを目的として安全衛生管理に取り組んでいただくようお願いいたします。

青梅労働基準監督署

5 月 事 業 報 告

- 12日 災害対策安全委員会
- 13日 事業委員会
- 13日 広報委員会 334号編集会議
- 16日 総務委員会
- 18日 西建協 第2回通常総会、理事会
- 25日 西多摩建設業協同組合 第56回通常総会
- 31日 西建協若手経営者の会 令和4年度 定期総会

6 月 事 業 計 画

- 9日 事業委員会
- 10日 災害対策安全委員会
- 16日 総務委員会
- 17日 広報委員会 335号編集会議
- 20日 三多摩建設業連合会 令和4年度総会
- 21日 理事会